

あきたのまち再発見 ぐるっと文化財マップ

見て楽しい、歩いて楽しい



秋田市教育委員会

このマップは、市民がまち歩きをして作成しました!



まちあるきの注意点

※個人住宅や敷地には立ち入らないでください。

-  は、歴史の説明などが記されている碑を表します。
-  は、神社を表します。
-  は、標柱を表します。
-  は、保存樹や大きな木を表します。



⑩筆塚
私塾などの師匠が使った筆を納めた筆塚が7基あります

桜並木
[本だけ花が白いサト桜があります]

④採油機 (ポンピングユニット)
別名「ウマツラ」「ホースヘッド」
今でも石油(原油)や天然ガスを採取しています

帝国石油の石柱
昭和30年代は日本一の石油(原油)生産地でした

草生津川
春は桜、秋はコスモスが見物です

競馬場跡地
秋田県畜産組合主催の八橋競馬場跡地
大正6年(1917)にはアート・スミス氏の遊覧飛行も!

伊夜比古神社
帝石の神社。石油鉱山の隆昌と安全の守護神として、新潟県の弥彦神社から分祀されました

①全良寺
お城に勤めた量職人の身代わりになった伝説があります

中国料理「盛」
中国料理と言えばやっぱり盛(さかり)です

草生津川コスモスロード
10月頃には川沿いのコスモスがとてもきれい

身代延命地藏尊
お城に勤めた量職人の身代わりになった伝説があります

仁王像
股の間をくぐると、麻疹や疱瘡が治ると伝わっています

①全良寺
お城に勤めた量職人の身代わりになった伝説があります

提灯屋高橋
「提灯は生きている!」店主の言葉に感動竿燈祭りが楽しみ

東京力士若梅と市墓
お相撲さんのお墓?

石川理紀ノ助翁碑
周辺は農聖が指導に当たった秋田県農事試験場跡地です

普門寺の碑
厄よけ弘法大師と称して信仰されましたが、今は石柱しか残っていません

面影橋
刑場に向かう罪人が、橋上から顔を水面に映したことから面影橋と言う説があります

不動院の庚申塚
すごく大きな庚申塚

日吉八幡神社の杉
將軍家の位牌を祀る日光東照宮の分院でした山門は日吉八幡神社に移され、随神門となりました

秋田最初の製油所跡
八橋陸上競技場

⑥宝塔寺山門
仁王様がお出迎えてくれます

⑥宝塔寺山門
仁王様がお出迎えてくれます

三重塔
宝永4年(1707)建立の県内唯一の三重塔

市役所の鐘
ドイツのパスサウ市から友好記念に贈られた鐘

八橋公園の池
千秋公園と同じ長岡安平が作庭したと言われています

元・桜の開花標準木
桜の開花はここで確認していました

測量基準標
秋田県立体育館
北緯39度43分16秒0210、東経140度05分40秒1283
秋田市で測地をするときの基準となります

鶏卵塚
二足四足を食さない習慣の名残り

随神門の右大臣と左大臣
大きさに驚きます椅子にヒョウとトラが描かれています

秋田蘭画の陶板
秋田蘭画の代表作をここで鑑賞

市役所の鐘
ドイツのパスサウ市から友好記念に贈られた鐘

市役所の鐘
ドイツのパスサウ市から友好記念に贈られた鐘

八橋一里塚跡
外町の鎮守社。建造物や句碑がたくさんあります

⑫日吉八幡神社
外町の鎮守社。建造物や句碑がたくさんあります

八橋公園の池
千秋公園と同じ長岡安平が作庭したと言われています

元・桜の開花標準木
桜の開花はここで確認していました

測量基準標
秋田県立体育館
北緯39度43分16秒0210、東経140度05分40秒1283
秋田市で測地をするときの基準となります

清美食堂
定番の肉鍋定食 山王の台所は昭和の香り

なつかしい八百屋
外見は古いけど中身は新鮮! 野菜・果物の事ならまかせておいて!

秋田蘭画の陶板
秋田蘭画の代表作をここで鑑賞

市役所の鐘
ドイツのパスサウ市から友好記念に贈られた鐘

市役所の鐘
ドイツのパスサウ市から友好記念に贈られた鐘

菅原神社
通称「八橋のおてんつあん」学問の神として親しまれています

不動院
日本三庚申霊場の一つ 大きな庚申塚が目印

日吉八幡神社
將軍家の位牌を祀る日光東照宮の分院でした山門は日吉八幡神社に移され、随神門となりました

秋田最初の製油所跡
八橋陸上競技場

⑥宝塔寺山門
仁王様がお出迎えてくれます

提灯屋高橋
「提灯は生きている!」店主の言葉に感動竿燈祭りが楽しみ

東京力士若梅と市墓
お相撲さんのお墓?

石川理紀ノ助翁碑
周辺は農聖が指導に当たった秋田県農事試験場跡地です

普門寺の碑
厄よけ弘法大師と称して信仰されましたが、今は石柱しか残っていません

面影橋
刑場に向かう罪人が、橋上から顔を水面に映したことから面影橋と言う説があります

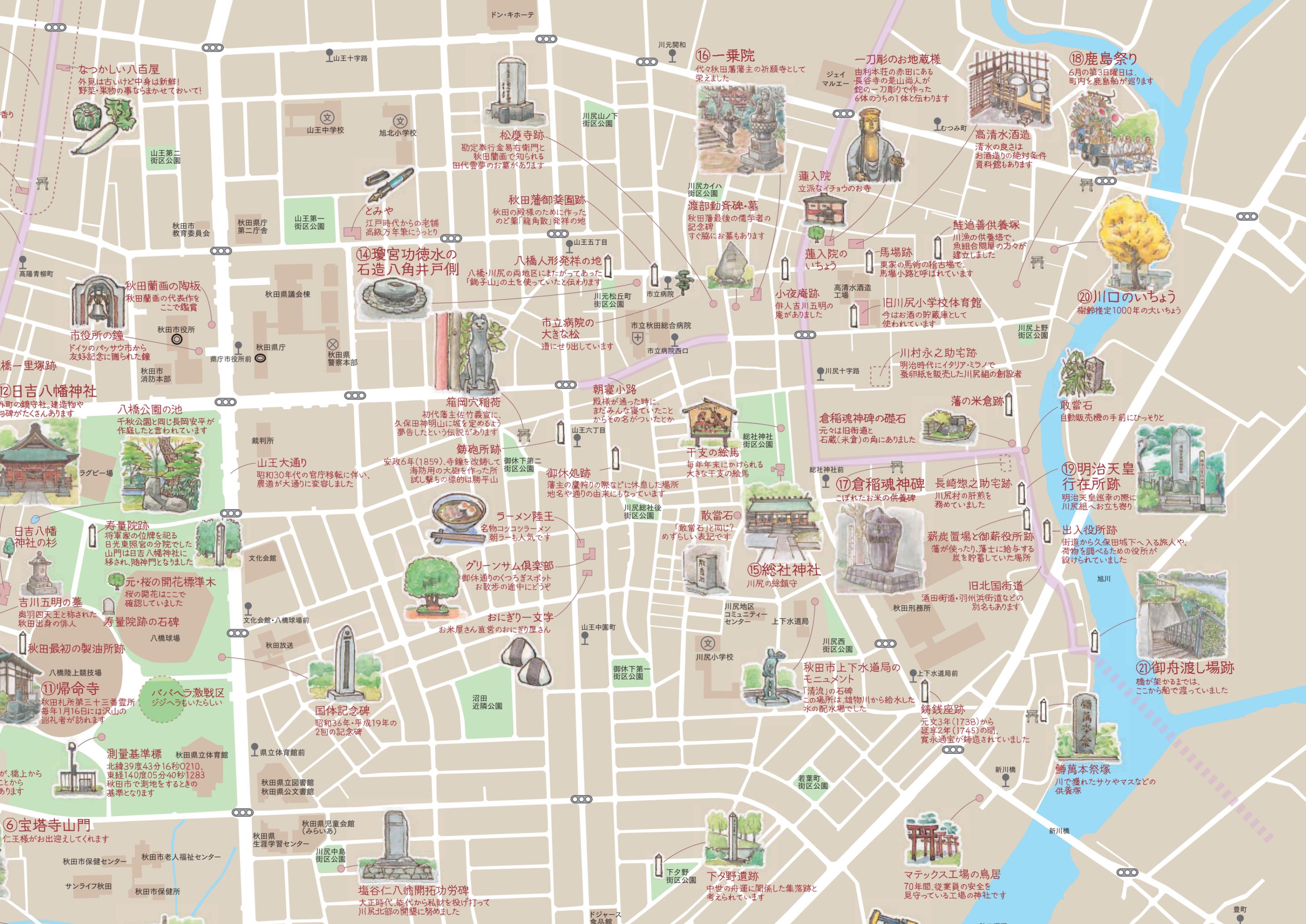
不動院の庚申塚
すごく大きな庚申塚

日吉八幡神社の杉
將軍家の位牌を祀る日光東照宮の分院でした山門は日吉八幡神社に移され、随神門となりました

秋田最初の製油所跡
八橋陸上競技場

⑥宝塔寺山門
仁王様がお出迎えてくれます

⑥宝塔寺山門
仁王様がお出迎えてくれます



なつかしい八百屋
外見は古いけど中身は新鮮!
野菜・果物の事ならまかせておいて!



秋田蘭画の陶板
秋田蘭画の代表作を
ここで鑑賞



市役所の鐘
ドイツのパスサウ市から
友好記念に贈られた鐘



八橋公園の池
千秋公園と同じ長岡安平が
作庭したと言われています



日吉八幡神社の杉
外町の鎮守社。建造物や
石碑がたくさんあります



元・桜の開花標準木
桜の開花はここで
確認していました



秋田最初の製油所跡
八橋球場



測量基準標
北緯39度43分16秒0210、
東経140度05分40秒1283
秋田市で測地をするときの
基準となります



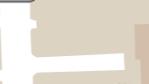
塩谷仁八翁開拓功労碑
大正時代、能代から私財を投げ打って
川尻北部の開墾に努めました



山王中学校
旭北小学校



とみや
江戸時代からの老舗
高級万年筆にうっとり



秋田藩御菜園跡
秋田の殿様のために作った
のど薬「龍角散」発祥の地



箱岡穴稲荷
初代藩主佐竹義宣に、
久保田神明山に城を定めるよう
夢告したという伝説があります



山王大通り
昭和30年代の官庁移転に伴い、
農道が大通りに変容しました



ラーメン陸王
名物コッコウラーメン
朝ラーも人気です



グリーンサム倶楽部
御休通りのくつろぎスポット
お散歩の途中にどうぞ



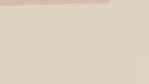
おにぎり一文字
お米屋さん直営のおにぎり屋さん



国体記念碑
昭和36年・平成19年の
2回の記念碑



山王第一
街区公園



八橋人形発祥の地
八橋・川尻の両地区にまたがってあった
「鍋子山」の土を使っていたと伝わります



朝寝小路
殿様が通った時に、
まだみんな寝ていたこと
からその名がついたとか



御休処跡
藩主の鷹狩の際などに休息した場所
地名や通りの由来にもなっています



散當石
「敢當石」と同じ?
めずらしい表記です



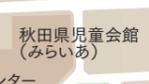
川尻地区
コミュニティ
センター



秋田市上下水道局の
モニュメント
「清流」の石碑
この場所は、雄物川から給水した
水の配水場でした



下夕野遺跡
中世の舟運に關係した集落跡と
考えられています



松慶寺跡
勘定奉行金易右衛門と
秋田蘭画で知られる
田代雲夢のお墓があります



蓮入院
立派なイチョウのお寺



渡部勤齋碑・墓
秋田藩最後の儒学者の
記念碑
すぐ脇にお墓もあります



小夜庵跡
俳人吉川五明の
庵がありました



倉稲魂神碑の礎石
元々は旧街道と
石蔵(米倉)の角にありました



長崎惣之助宅跡
川尻村の肝煎を
務めていました



鑄銭座跡
元文3年(1738)から
延享2年(1745)の間、
寛永通宝が鑄造されていました



鱒萬本祭塚
川で獲れたサケやマスなどの
供養塚



川尻山下
街区公園



川尻カイハ
街区公園



川尻上野
街区公園



川尻西
街区公園



川尻中島
街区公園



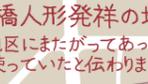
下夕野
街区公園



川尻カキ
街区公園



川尻十字路



川尻神社前



川尻西
街区公園



川尻地区
コミュニティ
センター



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



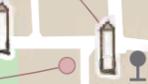
川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



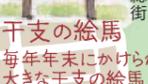
川尻西
街区公園



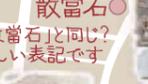
川尻西
街区公園



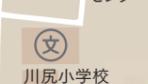
川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



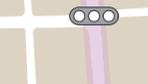
川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



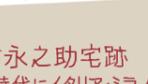
川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



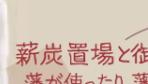
川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



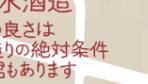
川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



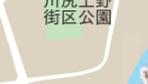
川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



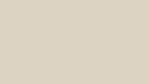
川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園



川尻西
街区公園





秋田市教育委員会

このマップは、市民がまち歩きをして作成しました！



市民のみなさんに地域の文化財・文化施設をもっと身近に感じて
もらいたいと、文化財イラストマップを作成しました。

マップ作成のためのワークショップでは、20名の市民のみなさん
が実際にまちを歩いて情報を集めました。このマップには、ワーク
ショップ参加者が注目したものやコメントなどを盛り込んであります。

このマップを持ってまちを歩き、地域の文化財・文化施設を楽しん
でください。

秋田市文化会館
◇秋田市山王七丁目3-1 ☎018-865-1191

秋田市観光案内所（秋田駅構内）……………☎018-832-7941
（財）秋田観光コンベンション協会……………☎018-824-8686

編集・発行：秋田市教育委員会 文化振興室
秋田市山王二丁目1番53号 山王21ビル4階
電話番号 018-866-2246 FAX番号 018-866-2252

協力：半田 和彦（市文化財保護審議会副委員長）
長尾 景義（第1回ワークショップ）
池田 憲和（第2回ワークショップ）

印刷：秋田活版印刷株式会社
イラスト：小西 由紀子
発行日：平成26年3月

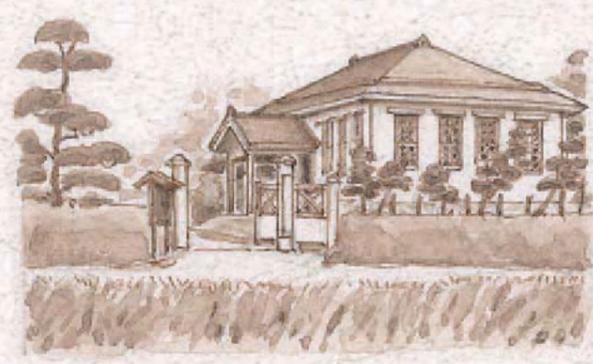


八橋地区の歴史と地名の由来
江戸時代初期に旧羽州街道が整備され、今日吉八幡神社が遷座した頃から住人が増えました。やがて、街道沿いに茶店が立ち並び、芝居興行が行われるなど、城下の町人が集う行楽地として賑わいました。地名は、八つの橋があったとも、坂上田村麻呂の射った矢が走り落ちたために「矢走」と呼ばれたなどの伝説があり、矢橋・谷橋なども記されていました。

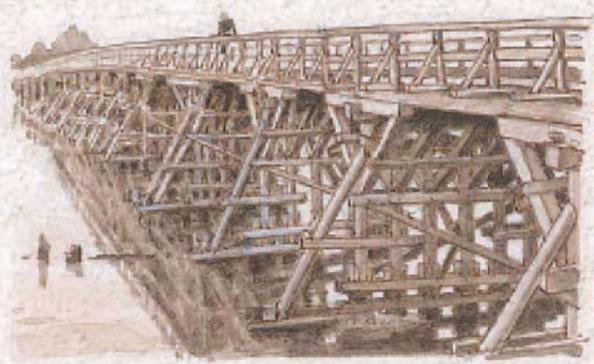
昔あった風景



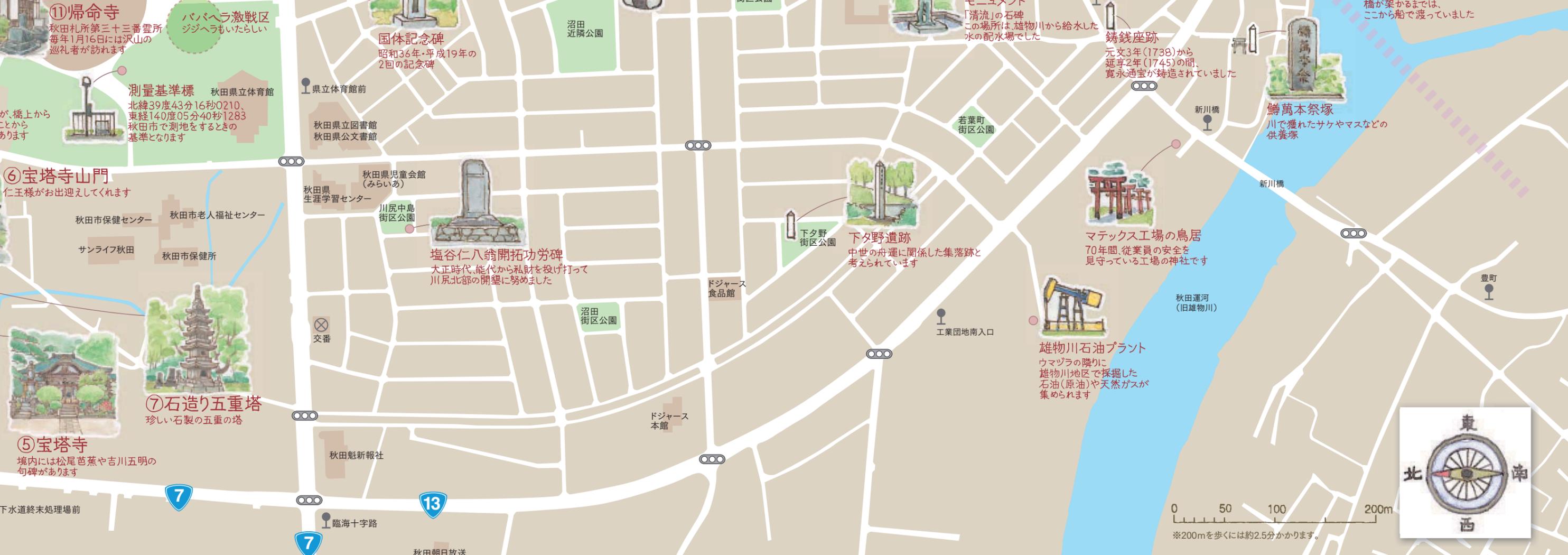
八橋油田（昭和30年代）
明治2年（1869）に干蒲善五郎が採収を始め、昭和30年代には国内最大の油田として、汲み上げ用の橋が一面に設置されていました。



秋田県産牛馬組合事務所（明治40年代）
現在の市立体育館周辺は、昭和初期まで牧草が茂る良好な放牧場で、25,000坪もの土地にたくさんの牛馬が飼育されていました。



新川橋（昭和38年頃）
明治25年（1892）に、新屋から旧久保田城下へ渡る唯一の渡船場であった「芝の渡し」に全長288mもある長い木橋が架けられました。



八橋地区の歴史と地名の由来

江戸時代初期に旧羽州街道が整備され、今の日吉八幡神社が遷座した頃から住人が増えました。やがて、街道沿いに茶店が立ち並び、芝居興行が行われるなど、城下の町人が集う行楽地として賑わいました。地名は、八つの橋があったとも、坂上田村麻呂の射った矢が走り落ちたために「矢走」と呼ばれたなどの伝説があり、矢橋・谷橋なども記されていました。

旧羽州街道について

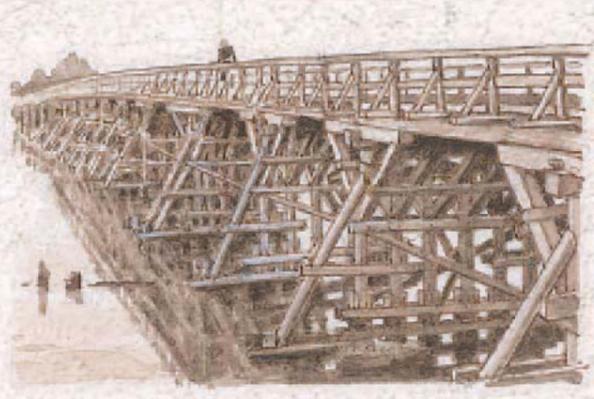
東北の日本海側（出羽国）を南北に貫く江戸時代の基幹道路で、福島で奥州街道と分かれ、米沢・山形・新庄を経て雄勝峠から秋田領内に入りました。領内では、横手・大曲・久保田城下・土崎・能代を経て大館の矢立峠までの63里4町23間（約248km）があり、さらに弘前・青森へと続きます。領内には、64ヶ所の「一里塚」が設けられ、領界には関所が置かれていました。

旧北国街道について

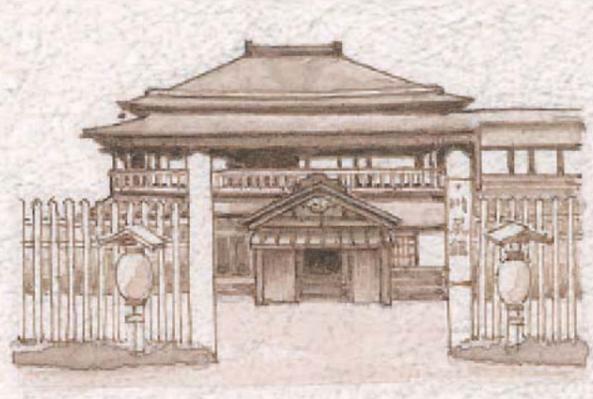
京の都から念珠ヶ関（今の新潟・山形県境）へ至る北国街道（北陸道）の延長部分で、「羽州浜街道」や、進行方向によって「秋田街道」・「酒田街道」とも呼ばれました。経路の多くは日本海沿いを通るため、砂丘や岩場などの難所が多い一方、景勝地に恵まれ、松尾芭蕉の『おくのほそ道』など多くの紀行文が残されています。

川尻地区の歴史と地名の由来

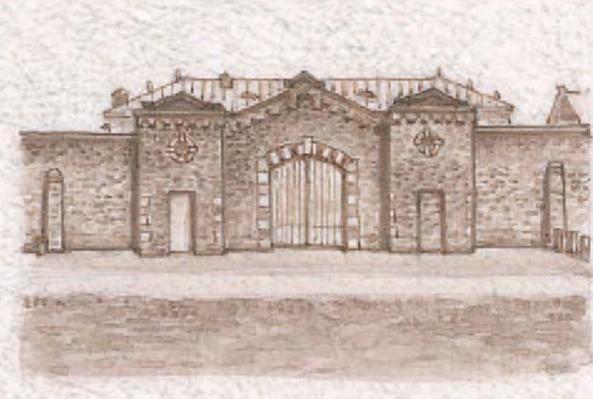
旧雄物川の河口に近く、旧北国街道の渡船場があったために、水上・陸上交通の要衝でした。江戸時代には雄物川を通じて運ばれた米や薪などを収める御蔵や、城下への人の出入りを管理する役所など、藩の施設が置かれました。地名は、雄物川の尻（下流）であることが由来と考えられます。現在の山王地区の大部分も川尻地区の一部でした。



新川橋（昭和38年頃）
 明治25年（1892）に、新屋から旧久保田城下へ渡る唯一の渡船場であった「芝の渡し」に全長288mもある長い木橋が架けられました。



川尻組（明治10年代）
 明治10年（1877）に川村永之助が創設した養蚕組合で、蚕の卵を貼り付けた蚕卵紙に定評があり、イタリアまで輸出されていました。



秋田刑務所（明治40年代）
 明治45年（1912）竣工の旧建物は、煉瓦造りの堅牢な建物でした。使われた煉瓦は、直営工場で地元の粘土を用いて製造されました。



小夜庵（昭和30年代）
 「奥羽四天王」に数えられた俳人吉川五明が、天明2年（1782）から俳諧生活を送った庵です。9代藩主佐竹義和もここを訪れました。